

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南 5-14-53  
県民ふれあい会館 1棟 6階  
FAX:058-275-6066 TEL:058-213-6786

ホームページ <https://gifudeafcenter.jp/>  
メールアドレス [gifudeafcenter@waltz.ocn.ne.jp](mailto:gifudeafcenter@waltz.ocn.ne.jp)  
指定管理者:一般社団法人岐阜県聴覚障害者協会



## 避難情報に関するガイドラインの改定について

大雨などの災害時に自治体が発表する避難の情報が改定されました。令和3年5月20日から「避難勧告」が廃止となり、「避難指示」に一本化され表記が大幅に変わります。

**令和3年5月20日から**  
**避難指示で必ず避難**  
**避難勧告は廃止です**

警戒レベル	新たな避難情報	これまでの避難情報
5	緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を懸念したときに発表)
4	避難指示※2	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者等避難※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意報 (気象庁)	早期注意報 (気象庁)

※1 市町村が災害の発生を確信し得るまでの間は、警戒レベル5は必ず発表される情報ではありません。  
※2 避難指示は、これまで避難勧告のみで発表されていた避難情報に統一されます。  
※3 警戒レベル3は、高齢者等の個人が避難の意思を決定する時間があり、避難の準備が完了し、危険な場所から避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を受けてはいけません！

避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間がかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

変更されたポイントは下記のとおりです。

### ①警戒レベル3 避難準備→【高齢者等避難】

発表された時点で、高齢者等(障害のある方や避難を支援する方も含む)は危険な場所から避難をして下さい。高齢者等以外の方も必要に応じ、避難の準備をするなど自主的に行動をするタイミングです。

### ②警戒レベル4 避難指示・避難勧告→【避難指示】

発表された時点では危険な場所から**全員避難**が必要です。

### ③警戒レベル5 災害発生情報→【緊急安全確保】



すでに災害が発生・間近に迫っている状況で、安全な避難ができず命が危険な状況です。

今後、テレビで災害情報が発表される事もあると思います。この情報を頭に入れておいて適切な対応をお願いいたします。

出典:内閣府 防災情報のページ  
新たな避難情報に関するポスターより引用  
[http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3\\_hinanjouhou\\_guideline/pdf/poster.pdf](http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/poster.pdf)

ます。災害情報に関連して、もう一つご紹介しておきたいのが「岐阜県総合防災ポータル」サイトです。こちらは岐阜県内の気象に関する注意報・警報が地図上で確認でき、避難情報・避難所開設情報も閲覧できます。いざというときの為に、「岐阜県総合防災ポータル」をお気に入り登録しておいてはいかがでしょうか。

「岐阜県総合防災ポータル」<https://gifu-bousai.secure.force.com/>

スマートフォンからはQRコードを読み込むことで接続できます。



岐阜県総合防災ポータル

## 「津波フラッグ」を覚えておいてください

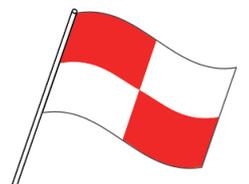


2011年に発生した東日本大震災を機に、各地で津波接近を視覚的に知らせる取り組みが行われていましたが、その方式が自治体によってまちまちという問題が発生しました。

その問題解決に向け、気象庁が中心となり、全国的に統一された“津波フラッグ”を定め、2020年6月より運用を開始することとなりました。

紙面の都合で配色がわかりづらいかと思いますが、赤と白の格子模様で視認性を考慮して短辺が100cm(1m)以上の大きさの旗です。

岐阜県は周りに海がなく、津波フラッグを見る機会がないかと思いますが、近県へ海水浴などに行った際にこの旗を見かけたら、速やかに避難を開始してください。



出典:気象庁ホームページ内 津波フラッグ説明ページ  
[https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami\\_bosai/tsunami\\_bosai\\_p2.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html)

# 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種についての情報



岐阜県内においても2月19日より医療従事者の方々からワクチン接種が始まりました。現時点では高齢者の方々も接種予約や1回目の接種が完了している市町村もあるかと思えます。

情報センターでは岐阜県の発表資料に基づき、「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について」の動画を作成し公開しております。一度ご覧いただき、ワクチン接種についての知識を深めてください。

ただし、市町村によっては動画の内容と予約方法、接種場所の決め方などに多少の相違がある場合もあります。必ず送られてきた案内文書をよく読み対応をお願いいたします。



ここからは、コロナワクチンに関するちょっと便利情報です。

厚生労働省が「コロナワクチンナビ」というホームページを開設しています。項目が大きく3つに分かれており、目的が明確に示されています。ワクチンについての知識や、接種を受ける方法、接種会場の検索などができます。

<https://v-sys.mhlw.go.jp/> コロナワクチンナビ



出典：厚生労働省 コロナワクチンナビ  
<https://v-sys.mhlw.go.jp/>

## ふれあいweek事前告知

本年度も、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら企画を進めております。現時点で実施予定として  
いる内容を先行してお伝えいたします。

期間：令和3年8月25日（水）～8月30日（月） 岐阜県聴覚障害者情報センター

期間中は福祉機器のデモ機展示（振動式目覚まし時計等、実際に手に取って体験等が可能）。

関係団体の紹介パネル等の掲示。

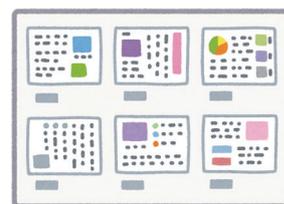
8月26日（木）午後 初級手話教室

8月28日（土）午前 要約筆記体験

8月28日（土）午後 特別講演①

8月29日（日）午後 特別講演②

8月28日、29日の特別講演の内容。



### 【特別講演①】



講師：河村一美氏（新潟県在住）

祖父の横尾義智氏（全国で唯一のろうあ村長）の孫にあたり、講演では、ろうあ者の村長として3期12年実務をこなされていた祖父の思い出話などをお話していただきます。

### 【特別講演②】



講師：篠田吉央氏（岡山放送アナウンサー）

出身は岐阜県美濃市。岡山放送にてアナウンサーとしてだけでなく、取材者としても活躍されており、担当する番組の『手話が語る福祉（内閣府特命担当大臣表彰優良賞受賞）』においては、篠田氏自ら手話で番組を進行しています。今回は、「聴覚障害者と歩んだ28年～『手話が語る福祉』が教えてくれたこと～」をテーマにご講演いただきます。

特別講演はどちらも、新型コロナウイルス感染症の状況によって、オンラインでの集団視聴形式に変更する可能性がございます。予めご了承ください。

案内チラシは別途作成し、ろうあ岐阜7月号に折り込みを予定しておりますので、今しばらくお待ちください。



# 電話リレーサービス情報



令和3年7月1日より開始される法律に基づく正式な電話リレーサービスの開始まで、残り1ヵ月を切りました。先日行われた情報提供施設向け事業説明会での内容をいくつかご紹介させていただきます。

①現行のモデルプロジェクトは令和3年6月末をもってサービス終了。これに伴い、新サービスを利用したい場合は、改めて利用者登録が必要となる（自動でサービス移行は行われない）。登録方法はアプリを利用するか郵送での手続き。郵送の場合は1週間から10日ほどの期間が必要となる見込み。

②サービスを利用する聴覚障害者個々に対して、050で始まる11桁の個別IP電話番号が割り当てられる。利用料の支払い方法はスマホの月額料金と合算、クレジットカード、振込用紙の方法があり、登録後の変更も可能。

③利用料金は通話料が安くなる月額料ありプランと、通話料は高くなるが月額料なしプランの2種類。利用者がどちらを利用するか決定する。

④24時間365日使用可能になる。(0570番号など一部利用できない接続先がある)

⑤110、119、118の緊急通報にも対応でき、地域で普及が進んでいるNet119との併用も可能。どちらを使っても問題はない。緊急通報の場合、電話リレーサービスは接続先に手話・文字通訳オペレーターがいるが、Net119は地域の消防本部につながり、通報のやり取りはチャット画面（文字だけ）の方法に限定される。

⑥聴覚障害者、健聴者双方への通話が可能。

今後、ホームページ (<https://nftrs.or.jp/>) にて正式な情報が随時公開されていきます。



①出典：総務省 電話リレーサービスページ内リーフレット  
[https://www.soumu.go.jp/menu\\_seisaku/ictseisaku/telephonerelay/index.html](https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/telephonerelay/index.html)

## YouTube動画の字幕追加のお知らせ

昨年度、ミニ手話講座とともに読み取りチャレンジ動画シリーズを公開いたしました。視聴されている皆さまには大変ご好評を得ており、チャンネル登録者数も直近1年で500名以上増加し、日々登録者が増えております。

しかしながら、公開した読み取りチャレンジ動画には、意図的に音声・字幕を付加しておらず、視聴される方々から「自分の読み取りがちゃんとできているのか不安」といったご意見が少なからず届きました。現在、徐々にではありますが、公開済みの読み取りチャレンジシリーズは、YouTubeの機能を利用した字幕表示ができる様、改善（修正）を行っております。操作方法はPCの場合、右下に字幕ボタンが表示されますので、お好みで切り替えてください。

スマートフォンのYouTubeアプリで視聴する場合は、画面をタッチし「CC」の表示を押すことで字幕のオン・オフの切り替えが可能になります。PCとスマホでは字幕の見え方が若干異なります。(画像参照)



スマホ版YouTubeアプリ



PC視聴画面

# 生活講座開催（新型コロナウイルス感染症に関する勉強会）4月11日（日）

本来、令和3年1月に開催する予定だった講座が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、4月によりやく開催することができました。

昨年1年間に起こった新型コロナウイルスに関連するニュース記事などを取り上げたり、どのようにして感染してしまうのか、感染後の症状、予防方法、皆さんが当たり前に行っているアルコール消毒は本当に効果があるのかなど、情報を盛りだくさんでお伝えさせていただきました。

講座の中でもお話ししましたが、「コロナウイルス」という手話単語は、最近策定されたものだと思いませんか？ 実は、2015年に既に策定されていたんですよ。



## 牛乳パックを使った工作 第2弾 5月23日（日）



前回好評だった牛乳パックを使った工作シリーズ第2弾の開催です。今回は万華鏡を牛乳パックを使って作成しました。完成イメージは出来ていましたが、いざ出来上がってみると「筒に入れるパーツをもっとたくさん入れればよかったかな」という声がありました。

参加者が4名と少なかったですが、楽しそうに作業に集中していました。

今回、失敗した点の中には入れる材料が静電気の影響で、うまく回転せず張り付いてしまったことです。材料を決める際には、入念なテストをすべきだと反省しました。

最後に参加者全員に感想を発表してもらいました。

## 難聴者向け初級手話教室開催 4月26日、5月24日

以前より開催を望む声があり、今年度より開催することとなりました。

当初、募集した時点では10名近くの申込がありました。新型コロナウイルス感染症の拡大が日に日に大きくなり、自主的に参加を見送られた方もいらっしゃいました。

初開催ということもあり、手探り状態ではありますが、参加者からは笑顔と笑い声が絶えない教室となりました。教室が終了した後も、交流スペースにて参加者同士で歓談されている様子が見られ、今後の開催も楽しみです。

次の開催案内もぎふ難聴者協会様を通して、お知らせさせていただきます。



## 聴覚障害者撮影モデル募集



情報センターでは自主制作映像として、手話単語の動画や読み取りチャレンジシリーズをYouTube上に公開しています。（前頁参照）

今後、手話表現の記録保存と、それを利用した読み取り教材への活用を目的とした、手話映像の撮影に協力していただける聴覚障害者（ろう者）を募集します。※特に高齢ろう者の方を希望。

昔のろうあ運動などの記憶を語ってみませんか？ 撮影場所は情報センターもしくはお近くに撮影にお伺いいたします。我こそは!と思われた方は、ぜひ情報センターまでご連絡ください。



※情報センター  
YouTube チャンネル



LINE



facebook



ブログ

左のQRコードを利用すると、情報センターのブログ、LINE、Facebookに簡単にアクセスできます。ぜひご利用下さい。

